

ウラジミール・プーチン大統領宛ての公開書簡

——力を合わせるべき時

【訳者注】2014年、明らかにプーチン大統領に濡れ衣を着せるニュースが世界に飛び交ったとき、「プーチン大統領とロシア国民の方々に対する公開謝罪状」というものが、ネット上に出て、署名者数が見る見るうちに増えていったことがあった。日本人の名前も散見された。http://www.dcsociety.org/2012/info2012/161012_1.pdf これは明らかにそれとは違い、一般読者に読ませようとする意図のほうが大きいだろう。しかし3年の間に、プーチン氏自身との我々の距離は縮まり、**Time to Join Forces!** と呼びかける機運は高まっている。

しかし先日、ある人に、「今、世界で一番尊敬され信頼されている政治家は、プーチンでしょう」と言ったら、ええっ！と驚かれた。世間の常識はいまだにそんなものかもしれない。そのためにも、このような啓蒙は必要である。

親愛なるプーチン大統領、

我々アメリカ人民は、この公開書簡を、抑えられぬ思いからあなたに差し上げます。

すべての合衆国の人民が、このような尋常でない手紙に署名するとは思いません。しかし、我々のかなりの数の者たちが確実にそうするでしょう。なぜなら、これほどのいわれのない迫害に対して、あなたが示された忍耐と勇気に対し、我々は深い感謝の気持ちをもっているからです。

ここアメリカの多くの者たちは、世界の平和と国際秩序の推進ために、あなたがどれほど貢献されたかを知っています。我々はまた、防備の手段をもたない者を保護し、テロにさらされた人々を救うために、ロシアが入った地域の、軍事紛争や惨状を知っています。

(なぜこれを書くのか?)

この緊急のお願いは、我々の歴史の2度の危機に、アメリカ合衆国を助けてくれたのはロシアだったという、歴史的事実に基づいています。

その 2 度の無償の介入は、ロシア国民と我々との特別の関係を忘れていない者たちの間では、よく知られています。一度目は、アメリカ革命（独立）戦争のときに、エカテリーナ女帝陛下から与えられた、なくてはならない援助でした。

<http://themillenniumreport.com/2017/09/how-russia-helped-the-13-colonies-win-the-american-revolution/> 歴史家の中には、あのロシアの外交的な巧みさがなかったら、我々は今もイギリスの植民地のままだろうと、考える者もいます。

2 度目は、市民（南北）戦争のときに、イギリスに率いられた、米連合への介入を、ロシアが阻止してくれたタイムリーな援助でした。

<http://themillenniumreport.com/2017/09/american-civil-war-when-russia-blocked-british-led-intervention-against-the-union/> もしあのとき、ロシア海軍が現れてくれなかったら、市民戦争はもっと長引き、全く違った結果をもたらしたかもしれません。

一気に 2017 年まで降って、ここで再びアメリカが、本当に生死にかかわる危機に直面しています。ただこの場合は、問題は、悪名高い「深層国家」内部の隠れた勢力が、アメリカ共和国の連続性を深刻に脅かしているということです。この隠れた者たちが、ワシントン内部のすべてを支配していて、“我々人民”は、今、**我々自身の政府によって**、日常的に攻撃を受けています。

ご承知願いたいのですが、ここアメリカの、あなたの無数の支持者たちにとって全く明らかなことは、米連邦政府をハイジャックした NWO グローバリスト陰謀団にとっては、あなたが深刻な脅威になっているということです。なぜなら、統一されたロシアは、ネオコンや、ネオリベラルの戦争屋たちから見れば、他の何よりも怖いからです。

不幸なことに、我々の同胞アメリカ人の多くは、ヒラリー・クリントン大統領を望んだ民主・共和両党によってロシアに向けられた、故意の魔女狩りによって、目が見えなくなっています。しかし、そういう人たちは、絶望的に欺瞞中毒になっているように見えます。彼らのほとんどは、自分たちが非常に危険なゲームに利用されていることを、全く知らないのです。したがって、彼らはみんな、自ら滅びの道を選ぼうとしています。

現実の問題として、2016 年の選挙シーズン中に“ロシア介入”計略を考え出した非常に隠微な陰謀団が、新しい方向を取り出しました。ハリウッド関係者のある者たちが結託して、ある新しい反ロシアキャンペーンをやり出しており、ハリウッドのリベラルたちが、ネオコン戦争屋と一緒にあって、ロシアに宣戦布告をしようとしています。

<http://stateofthenation2012.com/?p=84305>

私たちは特に、この驚くべき展開を頭において、あなたにこの手紙を書いています。多くのジョージ・ソロスの援助する組織と、この国のサテライト集団が、ロシアに宣戦布告するまで絶対に引き下がらない構えでいます。これら同じカネで動く逆賊どもは、もう一つの、挑発によらない、不法な戦争の、舞台を作る革命を扇動して報酬を得ています。

プーチン大統領に全く正直に申し上げますが、今アメリカで起こっているような戦争画策が、しかも全く正当化できる理由もなく、単にでっちあげの、根拠のない言い分だけで行われているのを、これまで誰一人見た者はいないのです。

多くのアメリカ人が、このネオコンの戦争作り陰謀を、完全に見抜いていることをご承知ください。不法な侵略戦争を始めるために、完全に騙されているといえ、幾分か結束した米市民が必要だったことは、注目すべきです。選挙民の半数がドナルド・トランプに投票したのは、世界の国家共同体に平和をもたらすという彼の公約だったことは、非常によい兆しでした。また彼がロシアとの関係を立て直すと約束したのも、明るい希望でした。…ただ、大統領自身はこの点で、この最も重要な選挙公約を、放棄してしまったように見えます。トランプ支持者たちは、こうした約束を忘れていないので、彼の責任を追及しています。

にもかかわらず、アメリカ人民は、あらゆる所で戦争をやめ、平和への道を作ることに關しては、ロシアの側に立っています。明らかにアメリカ政府は、“我々人民”の本当の気持ちを全く反映していません。そして戦争を求める者たちは、ただ、主流メディアの完全な欺瞞と言いついに、乗っているにすぎません。アメリカの政治体制のリベラルの側は、大量の見え透いたプロパガンダと戦争の口実によって誤導されています。しかし彼らは完全に道を見失い、この自己欺瞞から抜け出すことはないかもしれません。

（ここから我々はどこへ行くのか？）

独立戦争や市民戦争と同じく、アメリカ人民は、全く同じ勢力に立ち向かっています。ついでながら、これらの勢力は、1917年に、“母なるロシア”に対してボルシェビキ革命を起こした者たちに、非常によく似ています。現在、その100年後に、“祖国アメリカ”が、クリントン夫妻、オバマ、ポデスタ兄弟や、彼らの多くの共謀者によって始められた、「紫革命」<http://stateofthenation2012.com/?p=56307>からの脅威にさらされています。彼らはみんな、ちょうどボルシェビキたちのように行動しています。

しかし、現在と、1917、1863、1780年との間には、大きな違いがあります。インターネットが、かつて考えられなかったほどに、地球的戦場を平坦にしていきました。1つボタンを押せば、我々は、何百万の人々に読まれ、もっと多くの人にユーチューブで見られる、公

開の手紙をあなたに送ることができます。

したがって、我々が提案させていただきたいことは、ロシアが、ランチパッド（ローンチパッド）になって、“深層国家”を致命的に暴露するような、あらゆる種類の真相爆弾や事実ミサイルを、発してほしいということです。ロシア情報局が、深層国家による9・11 ニセ旗テロについての詳しい裏話を知っているのは確実です。同様に彼らは、ジョン・F・ケネディの暗殺が、古典的なCIAによる決行計画と隠ぺいだったことを、明確に証明する詳細な情報もっています。

それよりもっと重要で、今日の我々に関係するのは、オバマ政権がISILテロリスト集団を、一貫して武装させ、資金を与え、最初からイスラム・カリフ国を創りかつ援助したことです。提案させていただきたいことは、あなたの情報局が、これらの広く知られた告発事実を証明する確実なデータと、反論しようのない証拠を、ダウンロードするように示唆していただくことです。

これは結局のところ、ほとんど完全な情報戦争であって、かつての武器による戦争とは違います。誰であれ、ほとんどの情報を自分の側に効果的に拡散した者が、戦争に勝つと思われれます。同様に、誰であれ、中間にあって心の定まらない者たちの大多数に、影響を与えることのできる者が、戦争に勝つための味方の数を、大きく増やすでしょう。

ご存じと思いますが、ここアメリカの代替メディアは、可能などんなことをしてでも、ロシアを支持する用意があります。我々は根本的に真理の側に立っています。そして我々から見て、ロシアが今日、確実のその側にいます。一方、トランプ政権を取り込んだ深層国家は、ウソ宣伝と偽造のほかは、何もやっておりません。

おそらく、ロシアのブロガーやツイッター、フェイスブックやユーチューブをやる人たちは、邪悪な深層国家をこれきり立ち上がれなくする、最も放射性の高い情報やデータを手に入れることができます。国家側の“我々人民”と、ロシア人民が協力して、このきわめて困難な時代にあって、共通の大義を確立することができるのではないのでしょうか？

最後に、あなたが読んでおられないかと思って加えますが、次にあげるのは、情け容赦ないロシア嫌いの戦争屋たちの背後にある本当の目的を、裸にする暴露記事です。

「なぜアングロ - アメリカン枢軸は、ロシアに戦争を仕掛ける決意がこれほど固いのか？」

<http://stateofthenation2012.com/?p=22223>

こうした重大な事柄に、時間と関心を割いて下さったあなたに、感謝申し上げます。

ご健康を祈ります。

アメリカ合衆国の関心ある市民たちより

P.S. アメリカが、正確に 100 年前の、ロシア革命のときと同じ種類の激動を経験する危険の中にいるのは、偶然の一致でしょうか？ 昔のことわざが言っています——「ロシアの行くところへ、同じようにアメリカも行く」。